

議会だより



「最上町の森はわたしたちが守る」

2年前に緑の雇用制度で研修を開始した高橋幸太さん(左)と、林業歴12年の大場継晋さん(右)。幸太さんは小学校の頃の体験学習で林業の仕事に触れてから、林業への関心が高まったそうです。伐倒が上手く行った時の気持ちよさが林業の魅力の一つだと話してくれました。



【編集後記】

令和6年7月豪雨の激甚被害を受け、1年が経過しました。今もつづく復旧・復興の状況下の中、町民のみなさまに、大変ご苦労をおかけしております。

我々、議員一同、議会運営・広報編集に全力を挙げて、未来あるまちづくりに貢献し、読みやすく・わかりやすい、議会だよりを創ってまいりますので、是非ご覧ください。

(佐藤 正市)

広報編集委員会

委員長	宮本 浩
副委員長	菅 孝
委員	栗林 浩子
委員	佐藤 正市
委員	須貝 康幸
委員	山崎 香菜子



株式会社 結城林業
代表取締役
結城 貴宏 さん

私の想い

山を循環し未来へつないでいきたい

最上町には豊かな森林資源があります。しかし近年では想定以上の雨量から土砂崩れが起きてしまうケースも多発しており、山林が管理されていないことも原因とされています。所有者の皆様には山に関心を持っていただき、管理や伐採、売買などで悩まれているのであれば、まずは関係機関に相談していただければ解決策が見つかるはずです。

山は儲からないというイメージが定着していますが、集約化していけば収益を生むことも可能です。近年では昭和40年代くらいに地区ごとに造林した山が伐採の適期です。形状の悪い木はチップ材にすることで収益が生まれやすし、3回目の間伐は収入間伐として所有者に還元が可能です。

高齢化による担い手不足の問題もありますが、最近では林業への関心の高まりから幸太さんのような若い従事者が増えてきているのは嬉しいことです。私たち林業業者だけでなく、町民の皆様にも関心を持っていただきながら、みんなで最上の森を守っていききたいですね。

議会の主な動き

5月17日(土) 最上中学校運動会

最上中学校運動会は4年ぶりに雨の運動会となり、100m走以外の競技は体育館で行われました。学年ごとに3つの団体競技が行われ、紅白の勝敗を分ける応援合戦では両チームのパフォーマンスと熱のこもった応援団長の声が響き渡りました。

5月31日(土) 神室連峰山開き・安全祈願祭

白川溪流公園駐車場で山開き安全祈願祭が行われ、県内外約50人が参加しました。当日はあいにくの悪天候で、予定された神室連峰から槍ヶ先・禿岳へコースが変更になりましたが、遠くは東京など県外から訪れた登山客と共に山開き登山を楽しみました。

6月12日(木) 河川砂防事業 要望会

「本城地区寺ノ沢砂防事業の整備」「赤倉温泉地内水上急傾斜地(湯ノ原地区)において度重なる豪雨災害への対策について」「道の駅もがみ・やな茶屋の対岸における豪雨災害での溢水被害防止対策について」の要望書を最上総合支庁長へ提出しました。豪雨災害からの復興は、被災地域住民の生活再建だけでなく、観光を含めた地域発展に必要不可欠であり、今後とも要望活動を続けてまいります。



6月定例会

議会インターネット配信

傍聴者数

視聴回数

5名

1012回

6月

定例会

CONTENTS ◎ 目次

- 02. 特集「次世代に何を残せるのか」～最上町の公共施設のこれから～
- 04. ピックアップ議案審議「西公園の魅力作りを」ほか
- 06. 町政を問う 6議員が一般質問
- 09. みんなの議会「議会見取り図」
- 10. 常任委員会 所管事務調査 最終報告



2025 No.189

最上町議会だより

発行 / 最上町議会広報編集委員会
最上町役場 / 山形県最上郡最上町大字向町644



議会傍聴のご案内

次回の定例会は
9月 定例会 です

お問い合わせは議会事務局まで ☎43-2362 (直通)

デザイン・印刷 / 合同会社 クロスプランニング

(令和5年～令和44年)
公共施設全体の更新費用は、今後40年間で359.7億円
毎年9億円の費用が必要。



次世代に何を残せるのか

～最上町の公共施設のこれから～

町では、公共施設の経費の縮減を図り、持続可能な財政運営を目的に「公共施設等総合管理計画」を平成29年3月に策定（令和6年3月改定）、さらに各施設の具体的な対応方針を示した「個別施設計画」を策定（令和3年4月）しています。
 今回は、人口減少社会を見据えた公共施設の維持管理について、あらためて考えてみたいと思います。



公共施設等総合管理計画
 町のHPからご覧頂けます。

公共施設の現状 建物系 171 施設

※公共施設等総合管理計画・最上町個別施設計画を参考

学校教育系施設

(向町・大堀小学校・最上中学校・給食センター等)

7 施設

行政系施設

(役場庁舎・車庫等)

10 施設

町民文化系施設

(中央公民館・集落公民館・みんなの家等)

49 施設

健康・福祉施設

(ふれあいの里介護施設・健康センター等)

8 施設

社会教育系施設

(封人の家・地域間交流施設等)

4 施設

子育て支援施設

(あたごこども園・大堀保育所等)

7 施設

上下水道施設

(広域水道施設・下水道処理施設等) ※上水道総延長100km・下水道32km

13 施設

供給処理施設

(バイオマスチップボイラー施設)

2 施設

スポーツ・レクリエーション系施設

(前森高原交流施設・赤倉温泉スキー場施設・簡易宿泊りんど等)

18 施設

橋梁

67 箇所

病院施設

(最上病院・老人保健施設やすらぎ・医師住宅等)

12 施設

産業系施設

(産業振興センター・水上倉庫棟)

5 施設

道路

(町道・農道)

132 km

その他

(公衆トイレ・旧小学校)

14 施設

公営住宅

(集合住宅・戸建て住宅)

22 施設

(延べ床面積)
目標は施設総量を令和9年度までに12.5%削減

近年の除却・譲渡状況

西公園体育館 西公園テニスコート 月楯分館 前森自然ふれあい館

現在は
 4.3%
 削減

少子高齢化に伴う人口減少や厳しい財政運営が続く中であって、これからの最上町、町民にとって必要不可欠な施設とは何かをみんなで考え、時代に合わせて決断していかなければなりません。

そのためにも、まずは自分の身近にある公共施設やインフラをあらためて見つめ直すことが、次世代へ何を残せるのかにつながっていくのではないのでしょうか？



須藤 勇さん
 (大堀)

最上町は、三地区を基本に様々な公民館活動を展開してきましたが、平成21年度に大堀・富沢地区から職員の撤退など今後の将来に不安と低迷が予想される社会教育事業に違和感を覚えてなりません。この時代だからこそ、公民館事業の必要性和充実を期待したい。



高橋 朋敬さん
 (富沢)

中央公民館や向町8区交流会館などの既存施設において、室内で遊べる子どもの遊具が設置されていると嬉しいのではないのでしょうか。



沼澤 彩夏さん
 (向町)

空き校舎の利用では、どの施設も一部のみが利用されているようなので、一つの施設に集約することができれば、施設管理費用などが軽減されるのではないかと思います。また、気軽に利用できるフリースペースの設置も検討してほしい。



赤川 萌々香さん
 最上中3年 (大堀)

私の知っている公共施設がなくなっていくのは何だか寂しい気もします。何か良い使い道はないのか、町民全体で考えていくことが大切なので、最上町のこれらについて私も考えてみたいと思いました。

- 令和7年 -
6月定例会審議案

■ 報告 …… 2件

- ・株式会社最上町地域振興公社の経営状況報告
- ・令和6年度最上町一般会計繰越明許費報告

■ 専決処分 …… 8件

- ・令和6年度最上町一般会計補正予算(第10号)等

■ 条例の制定 … 1件

- ・最上町介護老人保健施設事業設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定

■ 同意 …… 1件

- ・最上町消防委員会委員の委嘱

■ 令和7年度
一般会計・特別会計補正予算
…………… 6件

計18議案

全会一致で
原案どおり可決



旧富沢保育所の利活用に向けた話し合い

問 富沢地区の公民館については、以前公民館機能を旧富沢保育所に移転する計画があったが、現在の進捗状況はどうなっているのか。

答 地元住民から旧富沢保育所を地域のコミュニティセンターとして活用していきたい。という要望がありましたが、建物の老朽化やアスベストの対策等があり改修して使用するには問題がある事がある。来年度以降に旧富沢小学校の校舎部分の

Pick up!

富沢地区
公民館の今後

Pick up!

前森牧場
良質牧草の提供

問 牧草の質の維持を今後どのように進めて行くのか。

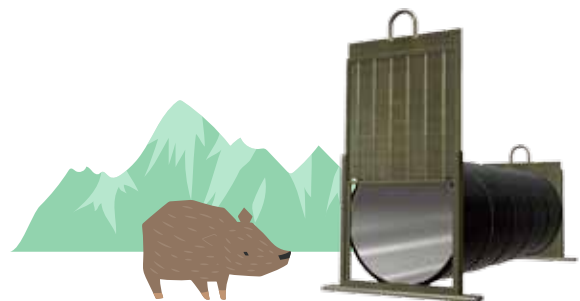
答 現在常時のオペレータ4名、臨時1名体制で作業しています。牧草の質ですが、昨年は雨が多かったです。肥料が足りないところがあったりして良質の牧草の生産ができませんでした。購入農家さんの意見を踏まえ、今年度は、早めの作業(肥料散布)や牧草の薄いところには、牧草の種を播いたりして出来るだけ良質の牧草を提供できるようにしたいと思います。

Pick up!

有害鳥獣に対する
新たな対策・補助金の検討

問 有害鳥獣(イノシシや熊)に対するワナの見回りには活動報酬をお支払いされていますが、無線での赤外線監視カメラの補助金の検討を考えると。

答 見回りについては、猟友会の方々より毎月日報を出していただいています。ワナの監視につきましては、話し合いの中でまだ会員の要望も強くありませんでした。今後猟友会との話し合いの中で、要望が強くあれば検討していきます。



人事
案件

■ 最上町消防委員会委員 任期: 令和7年9月30日まで
あ へ みきひこ
阿 部 幹 彦 氏 (新庄市)



Pick up!

議案審議

西公園の魅力作りを



大規模改修予定の温水プール

問 今後の西公園の魅力作りについて、町の考えは。

答 西公園の利用者が年々減少していますが、多目的広場の人気があり大勢の町民から利用いただいています。また、温水プールですが今年度長寿命化すべく大規模改修の設計を予定しています。町としても地域振興公社とのさらなる連携を図ると共に、活性化にむけて広く関係者が意見を出し合う「検討委員会」等の設置を通して、今後の西公園一帯の魅力作りに努めてまいります。

Pick up!

気になるR7年の
出生数は

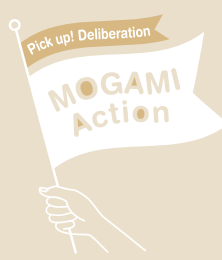
問 子育て支援短期入所事業委託料・児童手当の減額の要因とR6年度出生数とR7年度の見込みは。

答 子育て支援短期入所事業委託料は、保護者が何らかの都合で子育てが出来ない状態の時に時的に新庄の児童養護施設に預かってもらう際の予算処置でしたが実績がありませんでした。児童手当については、国の児童手当制度の拡充に合わせ当初・補正で増額予算処置をしましたが、見込みより実績が少なかったためです。R6年度出生数は14名でR7年度出生数見込みは17名となっています。





最上のまちづくりに熱き提言



6 議員が一般質問

- | | | |
|-------|-------|-------------------------------|
| 発言順 1 | 宮本 浩 | 「まちの防犯対策について」 |
| 発言順 2 | 須貝 康幸 | 「魅力ある観光地・商店街づくりの推進について」 |
| 発言順 3 | 山崎香菜子 | 「空き家を活用した二拠点生活推進について」 |
| 発言順 4 | 栗林 浩子 | 「アンコンシャス・バイアスの解消に向けた取り組みについて」 |
| 発言順 5 | 菅 孝 | 「最上町の財政立て直しと事業の見直しについて」 |
| 発言順 6 | 佐藤 正市 | 「結婚支援と空き家対策・移住定住について」 |
| | | 「令和7年度の赤倉温泉スキー場運営について」 |
| | | 「中学校部活動 クラブ移行について」 |

問 議員質問 **答** 町長答弁

※掲載している文章は抜粋したものです。詳しくは各議員のQRコードからご覧下さい

一般質問とは

議員の調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



みやもと ひろし
宮本 浩議員

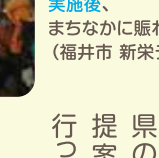
動画はこちらから

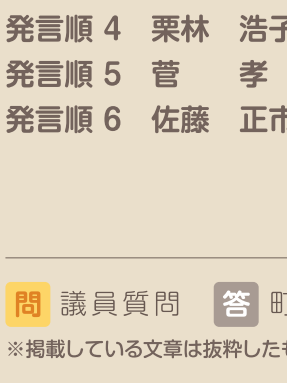




やまざき かなこ
山崎 香菜子議員

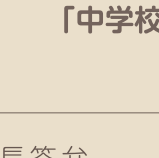
動画はこちらから

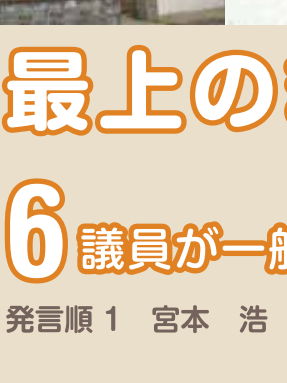




すがい やすゆき
須貝 康幸議員

動画はこちらから





やまざき かなこ
山崎 香菜子議員

動画はこちらから





すがい やすゆき
須貝 康幸議員

動画はこちらから



町長 住民や事業者と協議し、伴走型支援を行ってまいります 魅力ある観光地や商店街をどう創っていくのか

問 令和7年度の主要施策・事業15選にもある「魅力ある観光地・商店街づくりの推進」では、活性化にむけて関係団体との協働のもとに、望ましい手法を検討・実践します。とありますが、どのように進めていく考えなのか。

また、観光地の景観づくりの観点から、歩道舗装を整えていく考えや商店街の空き家、空き店舗、空き地の活用促進については、他自治体でも実施している補助金の創設や空き地整備の考えは。



商店街の空き地活用 実施前



実施後、まちなかに賑わいが生まれる(福井市 新栄テラス)

答 商工会と連携して、商店の経営状態や雇用環境、まちづくりへの取り組みなどについて、事業所調査を実施し、各事業者と共に目指す将来の商店街像を、再生計画にまとめていきたいと考えております。観光地の景観のあり方については、今一度見つめ直し、力を出し合って整備していくことが、末永く愛される観光地づくりには必要であり、町民の皆さまの思いを反映した景観づくりを進めてまいりたいと考えております。

空き店舗活用の補助金や空き地の整備については、具体的な事業計画を持つ方に県の補助制度の活用を提案し、伴走型支援を行ってまいります。

質問のねらい

昨年6月定例会にて「中心市街地の賑わいづくりについて」を質問してから進捗状況を確認し、具体的に他自治体の事例も出しながら、速やかな政策立案につなげたい。

町長 町にただ来てくださいだけではなく 環境整備を整えてまいります 空き家を活用した二拠点生活推進を どのように進めて行くのか

問 近年、空き家問題が話題になっておりますが、わが町も空き家が多くなってきたりします。現在、空き家問題を解消するために取り組んでいる事や計画していることを伺います。

答 自然災害や新たな感染症等の有事の際に交流のある都市との連携による、空き家を活用した新たな生活拠点の創出は、防災面でも大きな意義を持つものと認識しております。

1. 町の空き家の状況や空き家バンクでの実績
2. 空き家の増加が考えられるが、早期把握する仕組みを考えているか
3. ふるさと納税に絡めて使用方法や管理の検討
ほか2点について質問しております。



さらなる空き家の利活用を

今後は、移住支援の取り組みに、二地域居住も含めながら、都市部からの移住者の受け入れの推進に向けて、利活用可能な空き家の情報発信や空き家の所有者とのマッチングにも努めてまいります。

質問のねらい

空き家や空き地の利活用をしていく事で景観の維持、治安上の安全性の確保をしなければならぬと思い質問しました。

町長 アンコンシャス・バイアス解消への取り組みは 誰もが尊重し合える地域を目指します

問 地方では、特に若年層女性の流出が深刻で、最上町も例外ではない。その背景には、仕事や教育機会の不足に加え、アンコンシャス・バイアス(※)が強く存在し、女性の活躍を阻害していると考えられる。また、女性が地域社会で積極的に関わる場の不足や、情報格差による孤立、女性のひきこもりなども問題となっている。

これらの課題に対し、個々を尊重し、誰もが生きやすくなる環境づくりが重要と考える。昨年度の男女共同参画アンケートの結果も踏まえた、女性流出の原因分析、計画に基づく具体的な取り組みを問う。

答 最上町では、若年女性の人口流出が続く中、教育や就業機会不足に加え、男女共同参画アンケートから保育・介護サービス、職場環境、再就職支援の課題が浮き彫りになりました。町は、男女共同参画計画に基づき、男性の家事参入促進や就労支援を実施。



※アンコンシャス・バイアスとは無意識の偏見や思い込みのことです。

質問のねらい

最上町に来てから、事実ではないことが捻じ曲げられ伝達されることがあり、生きづらさを感じることが多々ありました。対話と尊重が今こそ大切なのではないのでしょうか。



やまざき かなこ
山崎 香菜子議員



動画はこちらから

財政再建の力ギは何か、事業の見直しが必要では

町長 施策の優先順位明確化と町民所得向上を目指します

問 町の財政がひつ迫している原因は何か、再建への力ギは。

答 人口減少による税収の減少、過去の借入金返済、職員給与などの経常経費増加が考えられます。財政を立て直すための鍵としては、公共事業の精査や施策の優先順位を明確化し業務効率化を推進します。また地元企業支援や観光振興策を積極的に展開し町民所得の向上を目指します。国や県からの補助金・交付金の確保を引き続き強化し、町の財政負担を軽減します。

問 日帰り温泉施設の運営方法など事業の見直しは考えているか。

答 温泉施設の運営状況については、収支バランスや施設の維持管理に関する課題が多い状況です。赤倉・瀬見両施設が設置された歴史的な背景や経緯、また地域課題の違いがありますが、時代の流れと共に再検討すべき時期だと考えます。

過去の経緯に縛られず、未来志向で施設の運営を再構築していくことが重要であると考えています。

問 地域公共交通リ・デザイン事業について、デマンドバスの利便性向上を優先させてはどうか。

答 デマンドバスの増便は慎重に検討し町民以外の方の利用は柔軟に検討すべきと考えます。高齢者の町立病院や役場、大型スーパーへの移動について、休憩場所の確保を含めたベンチの設置や安全性向上策の導入も含め検討を進めます。地域交通リ・デザイン推進事業については、地域交通システム導入に向けた研究業務の委託先も決定し着実に進んでいます。



くりばやし ひろこ
栗林 浩子 議員



動画はこちらから

質問のねらい

財政の立て直しは喫緊の課題でありながら改善が見られない状況です。厳しい運営状況にある日帰り温泉施設などの思い切った事業の見直しが必要だと考えます。

今年度の赤倉温泉スキー場の運営状況は

町長 振興対策協議会へ機能統合して対処する

問 気候変動や物価高騰を受けてのスキー場経営や、収支は、どうであったのか。また今年度は、どのような経営を行うのか。

答 町はスキー場の経営改善目標を経常収支でマイナス1700万円以内、利用者数2万9000人、営業日数85日以上に設定しました。昨年度の実績は収支でマイナス2370万円、利用者数2万3244人、営業日数89日となりました。今年度は改善検討委員会を赤倉温泉スキー場振興対策協議会に統合し、包括的な検討と改善をすすめます。



中学校部活動の地域クラブ移行について

問 最上中部活動の現状と地域クラブ移行の進捗は

答 最上中の部活動は、9つの常設部と2つの特設部が部活動を行っています。令和5年度より、検討委員会を設立、独自方針を掲げました。

- 1 平日の部活動は、クラブ移行を目指す。
- 2 教員の負担を考慮し、平日は勤務内で対応する。
- 3 休日には、顧問主体の部活動は、行わない。
- 4 休日と夜練は、保護者会が主体となり、時短を図る。
- 5 文化部の吹奏楽は、最上町吹奏楽クラブが発足しております。

今後も生徒が、自ら主体的に活動し、興味や能力に応じた、選択可能な環境の構築を目指します。



さと まさいち
佐藤 正市 議員



動画はこちらから

質問のねらい

町の財政が緊迫する中、スキー場経営の現状と経営方針の把握。また、中学部活動の地域クラブ移行に向けた、部活動の現状と移行への取組の把握。

積極的な結婚支援を

町長 町全体で結婚を支援する環境の整備を進めてまいります

問 結婚を促す対策や支援策をどのように捉えているのか。

答 県のマッチングシステム「Aiナビやまがた」の登録支援や結婚支援イベントの開催を進めています。さらに、婚姻後の新生活支援として住宅取得費等の補助や、子育て支援制度の拡充により、安心して結婚や子育てができるまちづくりを目指しております。

問 移住に対する町の政策を今後どのように進めていくのか。



答 町独自の取り組みとして、令和四年度から「最上町移住定住コーディネーター」を設置し、移住前後の相談対応や、移住イベントや公式ホームページで当町の魅力や住居や生活情報の発信等の取り組みを進めております。

問 今後の空き家・空き地対策は

答 空き家除却補助金の補助上限額を80万円から100万円まで増額しております。さらに、所得要件を設ける形で、町民の皆様にも空き家除却補助金を活用いただける事となりました。



かん たかし
菅 孝 議員



動画はこちらから

質問のねらい

人口減少を嘆くより、町自ら町民（若者）を鼓舞する政策を期待したい。

みんなの議会

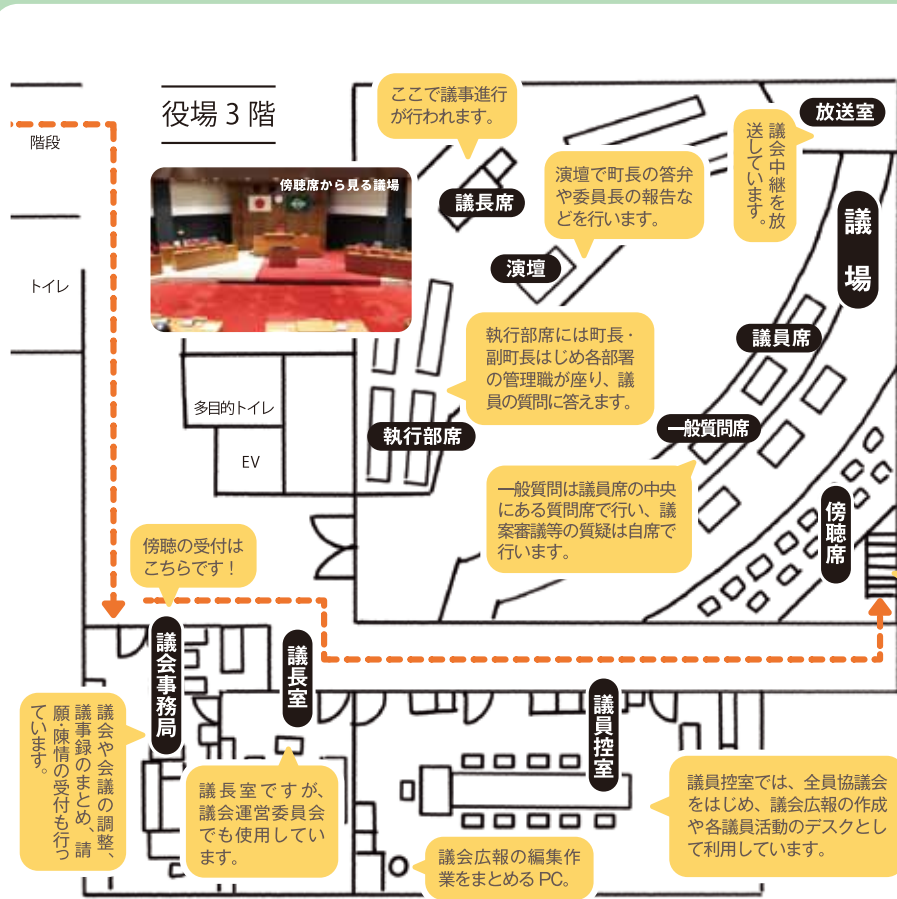
「議会見取り図」

今回は、町民の皆様身近な議会を目指し、役場内で議会が行われている議場とその周辺のお部屋についてご紹介します！傍聴もぜひお時間のある時にお気軽にお越しください。

本議会会期中はどなたでも傍聴が可能です。最初に議会事務局で住所氏名をご記入の上、傍聴券を受け取ってください。（約20席）



議員控室での広報委員会の作業中の様子



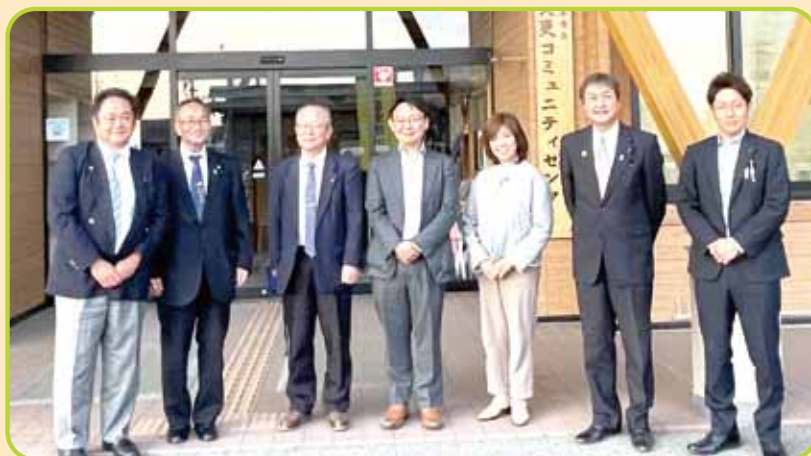


動画はこちらから

産業厚生常任委員会

「行政主導から法人型観光へ」転換が今後の町づくりに重要

委員長 尾形 勝雄



調査内容

本報告は、「持続可能な滞在型観光振興」をテーマに、岩手県八幡平市の先進事例を視察・調査した内容です。目的は、観光地域づくり法人(DMO)について学び、最上町の観光資源である赤倉温泉やスキー場、前森高原などの活性化、新たな観光商品の開発、外国人観光客の受け入れ体制や情報発信のあり方を検討することにあります。

調査内容

総務文教常任委員会

人口減少社会の中で
今こそ「一つの突破口となる挑戦」を

委員長 宮本 浩



調査内容

今回は「コンパクトシティから考えるまちづくり」をテーマに所管事務調査を実施しました。2045年には町の人口が約4116人に減少すると予測される中、地域コミュニティや行政サービスの維持に課題があるため、持続可能なまちづくりのあり方を調査しました。

調査内容

先進地視察

八幡平DMOは、地域事業者と連携し、「訪れて良し、住んで良し」の地域づくりを目指して活動。観光に関する情報を毎日収集分析し、地域全体で持続可能な観光を支える仕組みが構築されて、観光事業者や交通業者、金融機関、自治体などが連携し、調査・戦略立案、外国人観光客対応、観光商品の磨き上げなどを実施していました。

また、通過型観光からアクティビティ重視の滞在型観光への転換を図り、ガイドと宿、スキー場の連携やMTB、サイクリングなどの夏季アクティビティにも注力。前森牧場についても、地形を生かしたサイクリングや冬季観光への展開が期待されました。

このようなDMOの取り組みは、最上町にも応用可能であり、行政主導から法人型観光への転換が今後の町づくりに重要です。近隣の銀山温泉の宿泊需要を活かし、赤倉温泉や瀬見温泉に誘客するなど、最上町独自のおもてなしで観光を盛り上げることが求められます。

本調査は、議会だけでなく行政・観光関係団体が連携して観光振興を進める重要性を再認識する機会となりました。

先進地視察

岩手県の西和賀町と紫波町を視察。西和賀町では、地方独自の文化・産業振興、「ふるさとブックオフ」などによる文化拠点の創出、若者定住促進住宅や高齢者支援施設の整備が進められており、町内企業の雇用確保と住環境整備の重要性を実感しました。紫波町では、公民連携による都市整備「オガールプロジェクト」や商店街のリノベーション事業など、民間主導で行政が支える形の先進的な取り組みを視察しました。多機能複合施設の整備により年間85万人の来訪があり、町のにぎわい創出に成功しています。さらに、宮城県仙台市の「オープンヴィレッジ ノキスタ」も視察。ここでは保育園、障がい者支援、地域交流などを融合した多世代共生型施設が運営され、地域共生社会の実現例として大きな学びとなりました。

最終的に委員会では、人口減少社会の中で、今こそ「一つの突破口となる挑戦」が必要と確認。図書館や子育て支援施設また、高齢者も利用できる共生型施設の整備を町の重要政策として検討するよう町長に求めました。単なるインフラ整備に留まらず、社会的価値の創出も視野に入れた地域戦略が必要とされています。

町民との対話も重視し、「安心して生涯暮らせるまちづくり」実現に向け、住民の声を反映した施策づくりを期待します。



八幡平DMO代表より説明いただきました。



岩手県紫波町図書館



岩手県西和賀町「まちなか交流館」



宮城県仙台市「オープンヴィレッジ ノキスタ」